

令和4年 第6回原村観光推進組織検討委員会 議事録

日 時：令和4年6月29日（水）14:00～15:00

場 所：原村役場 2階 201会議室

1. 開 会

2. 協議事項

1) 委員の皆様から頂いた意見等について

意見1：メリットについて共有できたがデメリットについても話し合うべきでは
組織構成や収支についても多少は触れるべきでは。想定、理想
DMOを検討するに至った現状の課題は何か
どんな事業を行っていくのか、どんな資源を活用していくのか
参考にできる組織はあるのか

意見2：スケジュール感を持つことが必要（長期で考える場合）

DMOの中身についてはDMO自身で考えていくべきことであり、今議論する必要はないのではないか

まずは現行の体制（観光連盟、商工観光課）でいくのか、DMOで行くのかの
議論をすればいいと思う

可能であれば観光事業者へ現行体制について説明し、さらに評価をしてもらい、その後DMOについての説明とこれに対する意見を集めるべき

意見3：原村の人材で原村の成果物を作り原村にお金を落としてもらうためにもDMOは必要

DMOにはどんなリスクがあるのか、ゴールはなにかなど

委員長：ここでのリスクはなにか、DMOとして組織を維持できるのか？事故？

リスクがあるからやらないということでもない

委員：全国的な流れとして、観光協会のような組織が形骸化していくなかで、観光振興を再度行うためにもDMOのような組織が必要とされている。原村でも同じく観光協会が観光連盟になり、それでも観光のニーズには対応しきれていない。なにかしらの新しい組織は必要だと感じる。また、連盟や振興公社などもその組織に組み込まれるかは別として共にあるべき。設立を前提として話し合いをしたい

委員：かつては観光組織の母体はペンションであったが、今は多種多様な業種が存在している。組織の在り方もそれに合わせて変化していくべきであり、それらの事業者合意形成をはかっていく必要がある

委員：DMO になるための審査も厳しくなっていると聞く。やってみないとわからないこともあると思うが、少しでもリスクを減らすために事前に話し合いで課題を見つけていきたい

委員：リスクは何も無いと思う、強いて言えば怠慢のみ

委員長：近隣 DMO へ視察を行いリスクや失敗談なども聞いてみるのもいいのでは。
(八ヶ岳観光圏の戦略会議への参加、八ヶ岳ツーリズムマネジメントへの視察、茅野 DMO への視察など)

2) その他

8 月下旬に茅野 DMO へ視察 (8/23 で決定)

9 月 20 日に八ヶ岳観光圏戦略会議に参加するのはどうか

その後八ヶ岳ツーリズムマネジメントへの視察も検討する

3. 閉 会